

キーワード：地球温暖化対策、再生可能エネルギー、バイオディーゼル燃料

植物油バイオディーゼル燃料の燃焼・燃料の研究

研究・地域連携活動の背景・目的

植物油を原料としたバイオディーゼル燃料は、再生可能で、カーボンニュートラルな燃料であるため、地球温暖化の対策として将来有望な燃料です。このバイオディーゼル燃料の燃焼及び、燃料特性に関する研究を行い地球温暖化防止に寄与することを目的としています。

期待される効果などアピールポイント

菜種油、パーム油、ココナッツ油等の植物油にアルコールを反応させてできる脂肪酸エチルエステルや脂肪酸ブチルエステルから製造されるバイオディーゼル燃料は、植物由来の燃料であるため、大気中の二酸化炭素の濃度を上昇させず、地球温暖化対策に効果がある燃料です。

研究・地域連携活動の概要紹介

世界の年平均気温は、長期的には100年当たり約0.7℃の割合で上昇しており、特に1990年代半ば以降、高温となる年が多くなっています。この対策として私たちの研究では、燃料からのアプローチを行っています。

